

2005年10月3日

## 国内CRTガラス生産からの全面撤退を決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、2006年3月末までに、高砂工場（兵庫県高砂市）のCRT（ブラウン管）ガラスのパネル製造窯（1基）を停止し、国内のCRTガラス生産から全面撤退することを決定しました。

CRTガラス需要は、パソコン用、テレビ用ともにTF T液晶へのシフトが急速に進んでいる影響を受け、2004年度の約272百万本から2005年度の約220百万本へと減少する見込みであり、本年上期においては、販売数量減少に加え、販売価格下落、原燃材料費高騰などにより、当社のCRT事業の採算は急激に悪化しました。これを受け、当社は、国内外の各生産拠点での稼働調整を実施するとともに、本年9月をもって子会社である韓国電気硝子社においてパネル製造窯（1基）及びファンネル製造窯（1基）を停止しましたが、今後もCRTガラスの需要は徐々に減少していくことが見込まれます。

このような状況において、既にお客様であるCRTメーカーが国内になくなり、また需要減少が特に著しい大型品を生産している高砂工場において、2006年3月末を目処にパネル製造窯を停止し、国内のCRTガラス生産から全面撤退することとしました。また、本年末を目処に停止することとしていた高砂工場のファンネル製造窯については、停止時期を本年11月中に前倒しする予定です。

今回の高砂工場のパネル製造窯停止により、当社のCRTガラス事業は、東南アジア・中国・韓国・台湾においてパネル及びファンネルを生産する体制となりますが、今後もCRTガラスの需要とお客様の生産拠点に対応して生産体制を再編するなど、必要な対応を図っていきます。

一方、高い成長が期待されるFPD（フラットパネルディスプレイ）事業においては、急増する需要に対応しタイムリーに設備投資を行うなど、積極的に事業を展開していく所存です。

なお、高砂工場のパネル製造窯停止、韓国電気硝子社のパネル製造窯及びファンネル製造窯停止により、2005年12月期に特別損失が約100億円発生する見込みです。

以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

（担当：斎藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp）

## <ご参考>

### 1. 高砂工場の概要

- (1) 所在地 兵庫県高砂市梅井5 - 6 - 1
- (2) 代表者 工場長 寺田賢二
- (3) 生産品目 CRTガラス(パネル、ファンネル) SiC製半導体装置部材
- (4) 敷地面積 約38万㎡(内、約9万㎡を旭硝子セラミックス社に賃貸)
- (5) 従業員数 514名(2005年6月20日現在)

### 2. CRTガラスの構成

CRTガラスは、画面が映し出される前面の「パネル」、その背後のじょうご型をした「ファンネル」及び電子銃を収納する「ネックチューブ」の3部品から構成されています。

